

『夢育』推進のイメージ

変化の激しい予測困難な時代を生きていく今の子どもたちが、夢や目標を見つけ、それを「学びの原動力(エンジン)」として、主体的に学びながら挑戦し続けられるよう、『夢育』では、

I 子どもたちが地域社会とのつながりの中で将来を見通せるよう、夢や目標を見つけ挑戦する場を意図的・計画的に設定するとともに、この際、学校・家庭・地域が協力して取り組むため、地域連携を一層促進

II 夢や目標を見つけ挑戦する力を養うため、「生きる力」(知・徳・体のバランスのとれた力)とあわせて、「自分を高める力」を重点とする4つの非認知能力(※1)を育成 (※1)自分を高める力、自分と向き合う力、他者とつながる力、地域とつながる力



《イメージ》

I 地域社会とのつながりの中で将来を見通す

● 意欲的に学び、行動、発信できる場の充実

- ・ 総合的な学習(探究)の時間等での課題解決型学習、プロジェクト型学習(ふるさと学習や地域学など)の実施、その成果を発表・発信する場の充実
- ・ 職場見学、職場体験、インターンシップの充実
- ・ 各種コンテストやチャレンジへの参加促進
- ・ 体験活動の充実

● 夢や目標を意識し、その活動を振り返り、そして自らの変容や成長、将来の生き方を考える場の設定

- ・ 特別活動等でのおかやまキャリアパスポートの効果的な活用

● 学校・家庭・地域の連携促進

- ・ コミュニティ・スクール(※2)と地域学校協働活動の一体的な推進

(※2)学校運営協議会を設置した学校のこと

《 I と II の取組の好循環 》

II 夢や目標を見つけ、挑戦する力を養う

● 「生きる力」とあわせて「自分を高める力」を重点とする非認知能力の育成

- ・ 子どもたちに身に付けさせる具体的な力(4つの非認知能力を含む)を設定し、それらを教育活動の中で計画的に見取り、フィードバックしながら、その好ましい行動を強化